

# ！敷きふとんの「カビ」発生に注意！



敷きふとんは上げ下ろしをこまめにし、清潔な状態でお使いください。敷いたままにするとカビが発生する可能性があります。毎日、両面を空気に触れさせ水分を発散させるようにしてください。

◎フローリングや2段ベッドなど通気性の悪い床でご使用の場合は、特に注意が必要です。

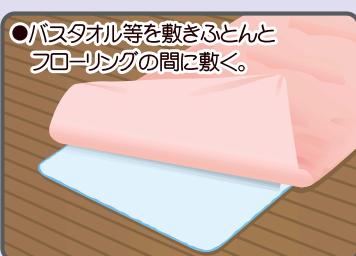
## 敷きふとんにカビを発生させないために

### フローリングでお使いの場合

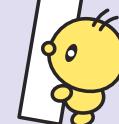
羽根敷きふとんは透湿性に優れているため、床と敷きふとんの間に水分がたまりカビが発生する可能性があります。

床と敷きふとんの間に吸湿性の良いバスタオルやタオルケット、市販の吸湿パッド等を敷き、水分を吸収させてください。

※バスタオル等は頻繁に交換するか、干してください。



日干しをしてね  
・月に2～3回  
・表裏合わせて1～2時間



### 毎日、上げ下ろしができない場合

毎日敷きふとんをめぐり、2つ折りにし、片面ずつ交互に室内干しをしてください。または、たたんで壁にたてかけ、敷きふとんの裏面に空気が触れるようにしてください。

※天気の良い日は室内の換気も行ってください。



### 2段ベッドでご使用の場合

2段ベッドの板の表面は、通気性のないビニール素材を使用していることが多い、湿度の高い時季や汗かきのあ子様が寝ると、ベッドと敷きふとんの間に水分がたまりカビの原因となります。頻繁に敷きふとんを干し、水分を発散させてください。



## 寝室環境のアドバイス

カビは温度(20～25℃)湿度(80%)栄養(人のアカ・ホコリ)の条件がそろうと発生しやすくなります。  
発生させないポイントは下記の通りです。

### ●湿気を抑える ●こまめな掃除・換気を行い、栄養となるホコリを除去する。

また、ふとんを押入れにしまう際は、ふとんの湿気をある程度逃がしてから収納してください。

### 加湿器をご使用の場合

毎日起床後、除湿器やエアコン等の機器を活用し、部屋の水分を取り除いてください。加湿器を使用することは、1日に2～3リットルの水を部屋に振りまいっているのと同じです。現代の気密性の高い住宅では、機械的な除湿が必要となります。

### 風通しの良くない北向きの部屋の場合

2、3日毎に起床後、除湿器をかけることをお勧めします。特に加湿器を使用している場合は、毎日除湿が必要になります。